

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年12月20日 (2018.12.20)

【公開番号】特開2018-173972(P2018-173972A)

【公開日】平成30年11月8日 (2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-043

【出願番号】特願2018-113302(P2018-113302)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/247 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 3 3 1

G 0 6 F 3/12 3 0 3

G 0 6 F 3/12 3 3 6

G 0 6 F 3/12 3 9 2

B 4 1 J 29/00 E

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/00 Z

H 0 4 N 1/00 1 2 7 B

H 0 4 N 1/00 8 3 8

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 M 1/247

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月16日 (2018.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯端末を制御するコンピュータに、

a) 近距離無線通信に基づいて、前記携帯端末が画像形成装置に対して所定の範囲内に近接したか否かを判定するステップと、

b) 一の画像形成装置と前記携帯端末とが所定の範囲内に近接したと判定された場合に、前記一の画像形成装置のみについて、前記携帯端末との連携動作を実行する連携先装置として確定するための確認メッセージを前記携帯端末の操作手段に表示するステップと、

c) ユーザによる前記確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定するステップと、
を実行させるためのプログラム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のプログラムにおいて、

d) 前記一の画像形成装置を特定するための情報である装置特定用情報を前記一の画像形成装置との近距離無線通信を利用して取得するステップ、

を前記コンピュータにさらに実行させ、

前記ステップc)においては、前記装置特定用情報により特定される前記一の画像形成装置が前記連携先装置として確定されることを特徴とするプログラム。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載のプログラムにおいて、

前記プログラムは、前記連携動作を実行するアプリケーションであり、

前記ステップb)においては、前記アプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態であるとき、前記アプリケーションが所定の画面を表示している状態で、前記確認メッセージが前記所定の画面に重畳して表示されることを特徴とするプログラム。

。

【請求項4】

請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のプログラムにおいて、

前記プログラムは、前記連携動作を実行するアプリケーションであり、

前記ステップb)においては、前記アプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態でないとき、前記携帯端末のオペレーティングシステムの通知機能を用いて前記確認メッセージが表示されることを特徴とするプログラム。

【請求項5】

請求項1ないし請求項4のいずれかに記載のプログラムにおいて、

前記プログラムは、さらに、

e) 前記一の画像形成装置との前記連携動作を実行するための情報が登録されていないとき、当該情報を登録することを確認するための第2の確認メッセージを表示するステップと、

f) ユーザによる確認操作であって前記第2の確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として登録するステップと、
を前記コンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項6】

携帯端末であって、

近距離無線通信に基づいて、前記携帯端末が画像形成装置に対して所定の範囲内に近接したか否かを判定する判定手段と、

一の画像形成装置と前記携帯端末とが所定の範囲内に近接したと判定された場合に、前記一の画像形成装置のみについて、前記携帯端末との連携動作を実行する連携先装置として確定するための確認メッセージを表示する表示手段と、

ユーザによる前記確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定する確定手段と、
を備えることを特徴とする携帯端末。

【請求項7】

請求項6に記載の携帯端末において、

前記一の画像形成装置を特定するための情報である装置特定用情報を前記一の画像形成装置との近距離無線通信を利用して取得する取得手段、
をさらに備え、

前記確定手段は、前記装置特定用情報により特定される前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定することを特徴とする携帯端末。

【請求項8】

請求項6または請求項7に記載の携帯端末において、

前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態であるとき、前記アプリケーションが所定の画面を表示している状態で、前記確認メッセージを前記所定の画面に重畳して表示することを特徴とする携帯端末。

【請求項9】

請求項6ないし請求項8のいずれかに記載の携帯端末において、

前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態でないとき、前記携帯端末のオペレーティングシステムの通知機能を用いて前記確認メッセージを表示することを特徴とする携帯端末。

【請求項 10】

請求項 6 ないし請求項 9 のいずれかに記載の携帯端末において、
前記表示手段は、前記一の画像形成装置との前記連携動作を実行するための情報が登録されていないとき、当該情報を登録することを確認するための第 2 の確認メッセージを表示し、
前記携帯端末は、
ユーザによる確認操作であって前記第 2 の確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として登録する登録手段、
をさらに備えることを特徴とする携帯端末。

【請求項 11】

画像形成システムであって、
携帯端末と、
画像形成装置と、
を備え、
前記携帯端末は、
近距離無線通信に基づいて、前記携帯端末が画像形成装置に対して所定の範囲内に近接したか否かを判定する判定手段と、
一の画像形成装置と前記携帯端末とが所定の範囲内に近接したと判定された場合に、前記一の画像形成装置のみについて、前記携帯端末との連携動作を実行する連携先装置として確定するための確認メッセージを表示する表示手段と、
ユーザによる前記確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定する確定手段と、
を有することを特徴とする画像形成システム。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の画像形成システムにおいて、
前記一の画像形成装置は、
自装置を特定するための情報である自装置特定用情報を記憶する記憶手段と、
前記近距離無線通信により前記携帯端末から装置特定用情報の要求を受信したとき、前記記憶手段に記憶されている前記自装置特定用情報を前記携帯端末へ送信する送信手段と、
を有し、
前記携帯端末は、
前記近距離無線通信を利用して、前記一の画像形成装置を特定するための情報である前記装置特定用情報を前記一の画像形成装置に要求する要求手段と、
前記要求手段による要求に基づいて前記一の画像形成装置から送信される前記装置特定用情報を受信する受信手段と、
をさらに有し、
前記確定手段は、前記装置特定用情報により特定される前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定することを特徴とする画像形成システム。

【請求項 13】

請求項 11 または請求項 12 に記載の画像形成システムにおいて、
前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態であるとき、前記アプリケーションが所定の画面を表示している状態で、前記確認メッセージを前記所定の画面に重畳して表示することを特徴とする画像形成システム。

【請求項 14】

請求項 11 ないし請求項 13 のいずれかに記載の画像形成システムにおいて、

前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態でないとき、前記携帯端末のオペレーティングシステムの通知機能を用いて前記確認メッセージを表示することを特徴とする画像形成システム。

【請求項 15】

請求項 11 ないし請求項 14 のいずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記表示手段は、前記一の画像形成装置との前記連携動作を実行するための情報が登録されていないとき、当該情報を登録することを確認するための第 2 の確認メッセージを表示し、

前記携帯端末は、

ユーザによる確認操作であって前記第 2 の確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として登録する登録手段、
をさらに有することを特徴とする画像形成システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記課題を解決すべく、請求項 1 の発明は、携帯端末を制御するコンピュータに、a) 近距離無線通信に基づいて、前記携帯端末が画像形成装置に対して所定の範囲内に近接したか否かを判定するステップと、b) 一の画像形成装置と前記携帯端末とが所定の範囲内に近接したと判定された場合に、前記一の画像形成装置のみについて、前記携帯端末との連携動作を実行する連携先装置として確定するための確認メッセージを前記携帯端末の操作手段に表示するステップと、c) ユーザによる前記確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定するステップと、を実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 2 の発明は、請求項 1 の発明に係るプログラムにおいて、d) 前記一の画像形成装置を特定するための情報である装置特定用情報を前記一の画像形成装置との近距離無線通信を利用して取得するステップ、を前記コンピュータにさらに実行させ、前記ステップ c) においては、前記装置特定用情報により特定される前記一の画像形成装置が前記連携先装置として確定されることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 3 の発明は、請求項 1 または請求項 2 の発明に係るプログラムにおいて、前記プログラムは、前記連携動作を実行するアプリケーションであり、前記ステップ b) においては、前記アプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態であるとき、前記アプリケーションが所定の画面を表示している状態で、前記確認メッセージが前記所定の画面に重畳して表示されることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

請求項 4 の発明は、請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかの発明に係るプログラムにおいて、前記プログラムは、前記連携動作を実行するアプリケーションであり、前記ステップ b) においては、前記アプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態でないとき、前記携帯端末のオペレーティングシステムの通知機能を用いて前記確認メッセージが表示されることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

請求項 5 の発明は、請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかの発明に係るプログラムにおいて、前記プログラムは、さらに、e) 前記一の画像形成装置との前記連携動作を実行するための情報が登録されていないとき、当該情報を登録することを確認するための第 2 の確認メッセージを表示するステップと、f) ユーザによる確認操作であって前記第 2 の確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として登録するステップと、を前記コンピュータに実行させることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

請求項 6 の発明は、携帯端末であって、近距離無線通信に基づいて、前記携帯端末が画像形成装置に対して所定の範囲内に近接したか否かを判定する判定手段と、一の画像形成装置と前記携帯端末とが所定の範囲内に近接したと判定された場合に、前記一の画像形成装置のみについて、前記携帯端末との連携動作を実行する連携先装置として確定するための確認メッセージを表示する表示手段と、ユーザによる前記確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定する確定手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

請求項 7 の発明は、請求項 6 の発明に係る携帯端末において、前記一の画像形成装置を特定するための情報である装置特定用情報を前記一の画像形成装置との近距離無線通信を利用して取得する取得手段、をさらに備え、前記確定手段は、前記装置特定用情報により特定される前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定することを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

請求項 8 の発明は、請求項 6 または請求項 7 の発明に係る携帯端末において、前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態であるとき、前記アプリケーションが所定の画面を表示している状態で、前記確認メッセージを前記所定の画面に重畳して表示することを特徴とする。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

請求項 9 の発明は、請求項 6 ないし請求項 8 のいずれかの発明に係る携帯端末において、前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態でないとき、前記携帯端末のオペレーティングシステムの通知機能を用いて前記確認メッセージを表示することを特徴とする。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

請求項 1 0 の発明は、請求項 6 ないし請求項 9 のいずれかの発明に係る携帯端末において、前記表示手段は、前記一の画像形成装置との前記連携動作を実行するための情報が登録されていないとき、当該情報を登録することを確認するための第 2 の確認メッセージを表示し、前記携帯端末は、ユーザによる確認操作であって前記第 2 の確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として登録する登録手段、をさらに備えることを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

請求項 1 1 の発明は、画像形成システムであって、携帯端末と、画像形成装置と、を備え、前記携帯端末は、近距離無線通信に基づいて、前記携帯端末が画像形成装置に対して所定の範囲内に近接したか否かを判定する判定手段と、一の画像形成装置と前記携帯端末とが所定の範囲内に近接したと判定された場合に、前記一の画像形成装置のみについて、前記携帯端末との連携動作を実行する連携先装置として確定するための確認メッセージを表示する表示手段と、ユーザによる前記確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定する確定手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

請求項 1 2 の発明は、請求項 1 1 の発明に係る画像形成システムにおいて、前記一の画像形成装置は、自装置を特定するための情報である自装置特定用情報を記憶する記憶手段と、前記近距離無線通信により前記携帯端末から装置特定用情報の要求を受信したとき、前記記憶手段に記憶されている前記自装置特定用情報を前記携帯端末へ送信する送信手段と、を有し、前記携帯端末は、前記近距離無線通信を利用して、前記一の画像形成装置を

特定するための情報である前記装置特定用情報を前記一の画像形成装置に要求する要求手段と、前記要求手段による要求に基づいて前記一の画像形成装置から送信される前記装置特定用情報を受信する受信手段と、をさらに有し、前記確定手段は、前記装置特定用情報により特定される前記一の画像形成装置を前記連携先装置として確定することを特徴とする。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

請求項 1 3 の発明は、請求項 1 1 または請求項 1 2 の発明に係る画像形成システムにおいて、前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態であるとき、前記アプリケーションが所定の画面を表示している状態で、前記確認メッセージを前記所定の画面に重畳して表示することを特徴とする。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

請求項 1 4 の発明は、請求項 1 1 ないし請求項 1 3 のいずれかの発明に係る画像形成システムにおいて、前記表示手段は、前記連携動作を実行するアプリケーションが前記携帯端末のフォアグラウンドでの動作状態でないとき、前記携帯端末のオペレーティングシステムの通知機能を用いて前記確認メッセージを表示することを特徴とする。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

請求項 1 5 の発明は、請求項 1 1 ないし請求項 1 4 のいずれかの発明に係る画像形成システムにおいて、前記表示手段は、前記一の画像形成装置との前記連携動作を実行するための情報が登録されていないとき、当該情報を登録することを確認するための第 2 の確認メッセージを表示し、前記携帯端末は、ユーザによる確認操作であって前記第 2 の確認メッセージの確認操作に応じて、前記一の画像形成装置を前記連携先装置として登録する登録手段、をさらに有することを特徴とする。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

請求項 1 ないし請求項 1 5 に記載の発明によれば、一の画像形成装置とユーザの携帯端末との連携動作を行う場合において、ユーザは、携帯端末に対する連携先の一の画像形成装置がユーザの所望の画像形成装置であることを確認することが可能である。